

広報·PR

## 県立高等学校改革プラン実施プランⅡ期対象校の概要について

## 1 機能統合(真壁高校←明野高校)(2025年度~)

○ 体験授業を含む学校説明会を開催(11月・12月)

<b>対象校</b> (学科構成) (募集学級数)	普通	真壁高等学校(桜川市)明野高等学校(筑西市)① 農業・環境緑地① 食品化学①普通②(各40人)取組の継承・発展(80人)
	1年	基礎学力定着のための支援("わからない"をゼロへ) 習熟度別授業の展開、外部の教材等を活用した効率的な学習(学び直し) 学科間の枠を越えた交流 ミックスホームルーム(学科混成のクラス編制)、稲荷原スタディ(稲荷原農場での授業)
普通科の学・ある教育活動	2・3年	<ul> <li>進路希望に合わせてコースを選択</li> <li>■ 1 自分に合ったスキルを身に付ける【クリエイティブキャリアコース】</li> <li>○ 生徒の興味・関心に応じた幅広い学びを展開(学校設定科目)</li> <li>例)・デジタルスキル…ウェブデザイン、アニメーション制作、動画作成、SNS活用法、eスポーツなど・ファッションスキル…ファッションデザイン、ネイル、メイク、ダンスなど・ファッションスキル・・ファッションデザイン、ネイル、メイク、ダンスなど・農業学科(農業・環境緑地科、食品化学科)と連携した専門的な授業を展開例)・調理実習、製菓実習、農業体験、石材加工、GAP認証への参画など</li> <li>■ 2 大学等への進学を目指す【アカデミックコース】</li> <li>○ 進学を目指した発展的・応用的な学びを展開・英語や小論文対策など総合型選抜入試に向けた授業、AIドリルの活用、大学研究</li> </ul>

○ 学校公式InstagramやTikTokを活用した広報活動(小中学生・保護者・地域をターゲット)



# 県立高等学校改革プラン実施プランⅡ期対象校の概要について

2 学校連携型キャンパス制 (結城第一高校・鬼怒商業高校) (2025年度~)

2 子仪1	2 字校連携型+77/A制(結城第一高校·鬼愁問業高校)(2025年度~)						
<b>対象校</b> 〔 <sup>学科構成</sup> [ <sup>募集学級数</sup> 〕	<b>結城第一高等学校</b> (結城市) 普通③ (120人)	<b>鬼怒商業高等学校</b> (結城市) 商業③ (120人) 情報ビジネス (40人)					
授業連携	遠隔授業やキャンパス間を移動した授業などによ に応じて選択できる科目を拡大	り、自校で開設していない科目など生徒の希望					
選択科目の拡大	想定科目(例) 英語:「英語探究」(ハイレベル英語) 理科:「化学基礎」「地学基礎」 日本語:「日本の言葉と文化」	想定科目(例) 商 業:「簿記」「プログラミング」 「マーケティング」 「ビジネス基礎」					
一両校に 単位制 を導入	《2024年~》 ○ 鬼怒商業「プログラミング」→ 遠隔により料 ○ 結城第一「日本の言葉と文化」(外国人生徒 → 鬼怒商業に在籍する外国人生徒(希望者)						
行事等 での連携							
学校行事、 部活動など	<ul> <li>・連携に向け、教員及び代表生徒たちによる相互視察の実施 (2024年)</li> <li>・吹奏楽部の合同演奏、鬼怒商チアダンス部が結城一のステージ発表に参加(2024年~)</li> <li>■ 2 イベント等</li> <li>・結城市のイベントへの合同参加 結城駅イルミネーション式典 (2024年~)</li> <li>祭りゆうき〔結城市文化祭〕 (2025年~)</li> </ul>						
	※ その他、スタートアップ行事を検討中(2025年5月連休明けを予定)						
	【部活動】合同練習等で連携スタート ・運動部:柔道(2024年〜)、野球、陸上競技、バスケットボール ・文化部:吹奏楽(2024年〜)、美術コミック[結城一]&写真・美術[鬼怒商]						

### 県立高等学校改革プラン実施プランⅡ期(概要版)

1 県立高等学校改革プランにおける実施プランⅡ期の位置づけ

実施プラン I 期 (2020~2023 年度)

第1部(2020~2022年度):中高一貫教育校設置

第2部 (2021~2023年度): 外国人生徒等への支援、科学技術の進展やIT人財の不足への対応

実施プランⅡ期(2024~2026年度)

#### 2 実施プランⅡ期の内容

○ 中学校卒業者数の変動 ⇒ 原則として募集学級数の調整により対応

3学級以下校であっても、志願状況等に応じて、さらに学級減を実施

○ 学校の小規模化への対応 ⇒ 高等学校同士での共同の学びを推進

新たに<u>学校連携型キャンパス制(統合なし)</u>をモデル的に実施 [遠隔授業の推進、学校行事等の合同実施]

○ 募集学級数の調整が困難な場合 ⇒ 地域の意見等に十分配慮しつつ、統合や分校化を検討

### (1) 統合(機能統合)

○ 対象校が培ってきた特色ある取組(教育活動)を、統合先の学校に継承・発展させるもので、 原則として、課程・学科等の改編を伴わない。

原則として、課任・子科寺の以禰を行わない。 						
実施年度	基本プランの エリア区分	主な改編内容(数字は学級数)				
2025年度	11)	明野 真壁	普通2 普通1 農業・環境緑地1		真壁	普通1 農業・環境緑地1 食品化学1
		明野高	食品化学 1 野高校普通科	真壁高校普通科  → キャリア・デザインコース  → 人文・自然科学コース  (2027 年 3 月)		

#### (2) 閉課程

ISSUE HALLA II					
実施年度	基本プランの エリア区分	対 象 校 (数字は学級数)	主な実施内容		
2025年度	2	太田第一(定時制)普通1	定時制課程の募集停止 2027 年度末閉課程(2028 年 3 月) (生徒募集は 2024 年度入学者選抜まで)		

#### (3) 学校連携型キャンパス制

○ 将来を見据えた学校の活力向上を図るため、統合せずに、近隣の対象校が連携・交流するもの。

実施年度	基本プランの エリア区分	-	・象 校 (は学級数)	主な実施内容
2025年度	11)	結城第一 鬼怒商業	普通3 商業3 情報ビジネス1	学校連携型キャンパス制の導入(統合なし) ①遠隔授業 ②合同での探究活動、学校行事、部活動 ③外国人生徒支援